

## 令和5年度 第1回学校運営協議会 議事録

日時：令和5年7月5日(水) 15:30～17:00

場所：本校校長室

出席委員：久会長、川添副会長、根井委員、岡本委員、谷口委員

事務局出席：校長、教頭、首席（2名）

1. 学校長挨拶
2. 会長挨拶
3. 報告

### ①学校概要・進路状況

進路状況は2023進路指導資料を用いて説明。

### ②教科書選定

### ③国際交流

2022（令和4）年度海外語学研修と今年の台湾2校との学校交流について報告。

## 4. 協議

### ①令和5年度学校経営計画について

・特に意見なし。

### ②スクールポリシーについて

・スクールポリシーに関して、会長より「アドミッションポリシーに記載されている「自主自律」を入れるといいのでは」との助言をいただいた。

### ③その他

・学校交流では英語で交流したのか？

→ 事前にSNS（掲示板）で互いの自己紹介等をして交流

（委員）このような交流で友人を作るなどささいなきっかけが英語や国際交流のモチベーションアップにつながる

・AIの活用はどれぐらい進んでいるのか、将来的にはどのように向きあっていくのか？

→ 本校で教職員がチャットGPT等を使用する際には、事前に使用の申請をする必要がある。

（委員）大学でもなぜチャットGPTを安易に使ってはいけないかということについて、教える必要がある。情報リテラシーや著作権の問題にからむものが多い。チャットGPT等を上手く扱えるようになると、自分のツールになるので使い方次第である。

・大学ではファカルティデベロップメント（以下FD）の一環として、授業見学だけでなくワークショップを開催している。何のテーマも無くて形式ばる必要はない。今、教員間で話題に上がるのは、「板書がいや」「ビジュアルで見せてほしい」という要望を挙げる生徒がいる。「コロナ禍によって学生の質が変わった」「メモを取らない」生徒も増えている。高校ではどのような状況か？

→ 本校では例えば英語の時間では、積極的にコミュニケーションをとろうとする生徒が増えていのように感じるが、書く力（単語の綴りや、文法など）が弱い生徒が多いように感じる。国語の教員も同じようなことを言っていた。

・教員の勤務時間は減っているか？

→ 府立学校全体は減っているが、本校は変わっていない。部活動や3観点評価等で時間をとられているためだと思われる。

・3観点評価の主体性については、どのような手段で評価しているか？

→ 各教科によって手段は違うと思うが、例えば英語では主にスピーキング（プレゼンなどの発表も含めて）、ライティングや動画学習の進捗、暗唱等で評価している。

→ 保健体育では、主体性を評価するために見取りをしっかりと続けている。

（委員）数学などは、主体性が見えにくい。白黒はっきりつけるところがあるからだ。プロセスをどう評価するかがポイントになるのではないか。

（委員）プレゼンが苦手なおとなしい生徒の評価にも、創意工夫をしてほしい。

・通級教室は何名いるか？

→ 昨年度2名からスタートして、今年是对人関係に悩みを持つ生徒が1人、忘れ物がひどくて困っている生徒1人、そこに新たに1年生も加わっていると聞いている。通級担当の先生方が、1人1人の状況に合わせて工夫をして指導している。